

MR I 検査の注意事項

☆ 検査を受けることができない方 ☆

装置により患者さんは大変強い磁場の中に身を置くこととなります。このため、装着金属によっては検査が禁忌となってしまうことがあります。

- ①心臓ペースメーカーを埋め込まれている方
- ②金属製の心臓人工弁をご使用されている方
- ③人工内耳（移植蝸牛刺激装置）、人工耳小骨をご使用されている方
- ④神経刺激装置（深部脳刺激装置、TENS装置）をご使用されている方
- ⑤除細動装置
- ⑥骨成長刺激装置
- ⑦注入ポンプ等
- ⑧磁力により装着する義眼や磁力部分が着脱不能な義歯
- ⑨冠状動脈等に磁性体のステント挿入後2ヶ月未満の方

☆ 下記に該当する場合は検査を受けることができない事があるため、担当医にお申し出下さい ☆

- ①脳動脈瘤手術による金属クリップやコイル等
金属の材質をご確認下さい。材質のわからない場合は検査を受けることができません。
- ②その他の金属が体内にある方
眼などの外傷に鉄粉（弾丸や鉄片等）が残存する場合、その他の部位で材質が確認できない場合は検査を受けることができません。
- ③閉所恐怖症の方
- ④入れ墨のある方
入れ墨では、火傷や絵が崩れる可能性があります。担当医にお申し出下さい。

☆ その他の注意 ☆

- ①検査室内では補聴器・装飾品・腕時計・磁気カード・電子機器等は故障する可能性が高いので、お持ち込みできません。
- ②入れ歯・使い捨てカイロ・エレキバン・ベルト等は、火傷や画像の乱れを引き起こす可能性がありますので取り外していただきます。
- ③アイライン・マスカラ等は火傷を発症する事例があるため、検査前に落としていただく場合があります。（酸化鉄などの成分が含まれている場合）
- ④湿布薬・ニトロダーム（ニトログリセリン真皮浸透絆創膏）・ニコチンパッチは電流が流れる場合がありますので外していただきます。
- ⑤コンタクトレンズは原則、取り外していただきます。